

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所属・職・氏名	尼崎市立武庫中学校	研究グループ名 (尼崎市小中一貫教育研究会)
	教諭 笹脇 正勝	

研究テーマ分類番号 (17)

(1)研究テーマ
尼崎市における小中一貫教育の必要性と課題 ～子どもの15歳の学力に責任を持つためには何が必要か～
(2)研究経過及び具体的な取組
6月14日 中学校教員による小学校の授業見学 ・場 所：尼崎市立武庫里小学校 ・内 容：社会科の授業を見学 ・成 果：小学校の授業展開と中学校との違いを知ることができた。 8月18日 指導を仰いでいる京都産業大学文化学部教授と、研究の打ち合わせ ・場 所：大阪 ・成 果：小中連携教育の必要性 ①学力の向上に効果がある。 ②不登校など教育病理の改善に効果がある。 ・課 題：小中学校の交流だけで終わってしまうことが多い。 ①小中連携を意識した教科カリキュラムの編成が難しい。 ②学力実態調査が学校序列化につながらないようにする。 ・今後の取り組み：小中学校教員へのアンケート調査 教員への講演・意見交流 9月24日 中学校教員による小学校の授業見学 ・場 所：尼崎市立武庫小学校 ・内 容：生活の授業を見学 ・成 果：社会科の基礎となる生活の授業展開を知ることができた。 12月 6日 小学校教員に授業を公開 ・場 所：尼崎市立武庫中学校 ・内 容：社会科の授業を公開し、中学校社会科の授業展開を説明した。